3月15日号

●〒296-8602 千葉県鴨川市東町929 ●TEL04(7092)2211代 ●発行責任者 亀田隆明 ●作成 広報企画室

●毎月1日・15日発行

## 診察室変更のお知らせ

4月4日(月)より以下の診療科が移動します。

	これまで 🕨	変更後
総合内科	2階6番 🕨	2階7番
一般内科	2階6番 🕨	2階7番
家庭医診療科	2階6番 ▶	2階7番
呼吸器内科	2階4番 🕨	2階6番
リウマチ・膠原病・ アレルギー内科	2階7番 ▶	2階4番
ペースメーカー外来	2階6番 ▶	2階5番

ご迷惑おかけいたしますが、何卒ご理解ご協力の程 お願い申し上げます。場所が分からない場合は、職員 に遠慮なくおたずねください。

### 敷地内全面禁煙にご協力ください



 $\bigcirc$ 

当院は多くのがん患者さまの診療を 受け持つ「がん診療連携拠点病院」で す。敷地内禁煙等のたばこ対策に積極

的に取り組むことが遵守規程となっており、以前 より建物内に限らず病院敷地内(駐車場を含む) は全面禁煙とさせていただいております。望まな い受動喫煙をなくし、喫煙による健康被害を防 止するため、引き続き、敷地内全面禁煙にご協 力くださいますようお願いいたします。



## <第10回> 介護職員初任者研修のご案内

地域で活躍できる介護職員の養成を めざし、下記のとおり第10回介護職員 初任者研修を開催いたします。

興味をお持ちの方は、ぜひお申込み ください。



日 時	2022年5月26日(木)~2022年9月8日(木) 研修は24日間(9:00~17:00)の予定です
内 容	133時間 1時間程度の修了試験があります ※詳細は介護職員初任者研修概要を参照ください
受 講 料	55,000円(消費税込み、テキスト代含む)
定 員	30名(10名未満の場合は中止いたします)
申込締切	2022年5月6日(金)
申込方法	<ol> <li>履歴書(市販の物使用B4サイズ、写真貼付)</li> <li>返信用封筒(長形3号に94円切手貼付、宛先記入)の2点を郵送してください。</li> <li>宛先〒296-8602 鴨川市東町929 亀田総合病院 継続学習センター</li> </ol>
選考方法	書類選考及び面接審査
	(追ってご案内いたします)

## 住所や電話番号 お変わりないです

#### 変更がある場合は登録変更をお願いいたします

3月下旬から4月までは引越しシーズンです。就職で保 険証が変わったり、入学や転勤などで住所に変更がある 場合は、新しい保険証をお持ちの上、窓口にて登録変更 \_ 手続きをお願いいたします。

> 当院からの書類を郵送したり、急ぎの ご連絡をさせていただくこともあります。 お手数をおかけいたしますが、早めの変 更手続きをお願いいたします。

#### ③:透析センター

新棟「G棟」は今年5月の竣工をめざして、現在各フロアの内装工事が急ピッチで進められています。今回はG棟6階に移転する「透析センター」についてご紹介します。

#### 透析センターとは



3月の第2木曜日にあたる3 月10日は、腎臓病の早期発 見と治療の重要性を啓発する 「世界腎臓デー」でした。

腎臓は体内の不要な老廃物や余分な塩分・水分を尿と して体の外に捨てる働きがあ

るほか、体の電解質のバランスを保つ、血圧を適切に調整する、骨や赤血球をつくる働きを助けるなど、生命の維持に重要な役割を果たしています。

世界トップクラスの長寿国の日本ですが、近年「慢性腎臓病」(何らかの腎臓の異常が慢性的に続いている状態)が増加傾向にあり、成人の8人に1人が該当するといわれています。

慢性腎臓病の初期は自覚症状のない場合が多く見過ごされがちですが腎機能障害が徐々に進行し慢性腎不全になると、むくみや血圧上昇、貧血、夜間多尿など体にさまざまな不調をきたすようになります。食事療法や投薬によってその進行を遅らせる治療を行っても末期腎不全に移行し、生命の維持がおびやかされる状態になった場合、腎臓の働きを補うために腎代替療法(透析療法や腎移植)が必要になります。

日本は諸外国に比べて、臓器提供者が圧倒的に少なく、 末期腎不全と診断された患者さまの多くは、医師との相談 を経て透析療法を受けることになります。日本透析医学会 の2020年末の調査によれば、日本の透析患者数は34万 人を超え、その大半を血液透析\*が占めています。

※人工的に血液中の余分な水分や老廃物を取り除き、血液をきれいにする働きを腎臓に代わって行う透析療法のうち、体外の機械に血液を通す治療法。

外来透析施設である当院透析センターはベッド数70床で、現在200名前後の患者さまが通院されています。月曜日から土曜日まで午前枠・午後枠・夜間枠の3クールで、血液透析を主としてあらゆる血液浄化療法(血漿交換療法、血液吸着、腹水濃縮など)に対応しています。また、重症患者さまや緊急での治療にも24時間対応できる体制を敷いています。そのほか、近年患者さまの高齢化も進み、透析患者さまのなかには筋力低下により転倒しやすい患者さまも見られるため、透析中に筋力低下防止の運動なども実施しています。

新しい透析センターでは、感染症の患者さまに対応できる陰圧対応の個室を設けたほか、全装置電解水オンラインHDFに対応できるよう設備面を強化。拒絶反応が生じにくく酸化ストレスを軽減する透析を実現することで合併症を減らし、QOL(生活の質)向上と生命予後の改善を目指します。

#### 防災対策

災害対策棟であるG棟には大型の非常用発電機が整備されているほか、透析用原水備蓄も行っているため、停電や断水が発生しても透析医療を安定的に提供できる環境を整えています。また、災害時には医療物資の配送も滞ることが予想されるため、透析原液や消耗品なども1週間分を目安に備蓄を行っています。

そのほか、透析センター内に災害対策係を設け、年2回ほど独自に災害時訓練(消火器や消火栓の使用訓練、搬送訓練など)を行うなど、日頃から災害リスクを確認しています。

#### 移転に伴うお知らせ

透析センターでは可能な限り診療体制を維持するため、5月21日(土)午後と翌22日(日)でG棟6階へ移転を予定しています。そのため、現在のE棟3階での外来診療は5月21日(土)が最終日となり、5月23日(月)からはG棟6階にて診療を行います。

通院中の患者さまには移転直前の透析予定を一部変更させていただく場合がありますので、ご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

# 医師紹介 永榮 美香



「①担当科目 ②診療における得意分野 ③趣 味 ④ひと言



- ①ウロギネ科
- ②女性泌尿器
- ③中国茶、音楽鑑賞
- ④快適な生活に向けて、お手伝いさせて頂ければ と思っております。よろしくお願い致します。